

令和元年度事業実施状況

1 事業の一覧 【研】：研修センター機能 【情】：情報センター機能 ○：会議他

	事業内容
4月	<p>【情】センターだより発行</p> <p>【情】令和元年度版リーフレット作成・配布</p> <p>【情】教材機材貸出開始</p> <p>【情】ホームページ作成 メロン保育園（4/16）</p> <p>【情】アプリケーション操作支援（マチコミ設定） 二俣保育所（4/19）</p>
5月	<p>○第1回センター連絡会議（5/10） 河北総合センター</p> <p>○センター利用説明会（5/14・16） 河北総合センター</p> <p>対象：学校関係教職員・社会教育施設等関係職員</p> <p>※ 2日間のうち、いずれか都合の良い日に参加</p> <p>○第1回運営委員会（5/23） 河北総合センター</p>
6月	<p>【研】サテライト研修会開始（～2月）</p>
7月	<p>○運営委員会役員会（7/3：試写教材選定） 河北総合センター</p> <p>【情】センターだより発行</p> <p>【情】女川町獅子振り披露会：撮影記録（7/28）・DVD作成（7/30～8/2）</p>
8月	<p>○第2回運営委員会（8/6：購入予定教材試写会・選定） 河北総合センター</p> <p>【研】情報教育研修会（8/9） 河北総合センター文化交流ホール</p> <p>対象：2市1町学校関係教職員（参加者38人）</p> <p>研修内容：情報モラルに関する研修</p> <p>講話 「児童生徒のインターネットトラブルの未然防止や事後の対応」</p> <p>宮城県総合教育センター 情報教育班 指導主事 山下 学 氏</p> <p>演習 「異校種のグループによる情報モラル学習の指導内容等の情報交換」</p> <p>【情】ジュニアリーダー中級研修会：撮影記録（8/16・17）・DVD作成（8/20～9/30）</p> <p>【研】デジタルメディア研修会Ⅰ（8/20） 河北総合センター</p> <p>対象：学校関係教職員・社会教育施設等関係職員</p> <p>ワード文書作成研修（受講者3人）</p> <p>○第2回センター連絡会議（8/22） 河北総合支所</p>

9月	<p>【研】デジタルメディア研修会Ⅱ（9/5・6） 河北総合センター 対象：学校関係教職員・社会教育施設等関係職員 パワーポイント基本研修（受講者4人） ※夜間実施</p> <p>【情】令和元年度新規教材購入</p>
10月	<p>【情】情報機器活用（カセットテープCD化）相談支援（10/24） 河南公民館</p> <p>【情】センターだより発行</p>
11月	<p>【研】デジタルメディア研修会Ⅲ（11/6） 河北総合センター 対象：学校関係教職員・社会教育施設等関係職員 エクセル基本研修（受講者3人）</p> <p>【研】石巻市教育研究会視聴覚・情報教育部会 指導・講評（11/15） 蛇田小学校</p> <p>【情】石巻地区青年文化祭撮影・記録（11/17）</p>
12月	<p>【情】センターだより発行</p> <p>【情】成人式DVD作成支援 石巻地区（12/17、12/18）</p>
1月	<p>【情】成人式DVD作成支援 石巻地区（1/7）</p> <p>【情】成人式DVD作成支援 雄勝地区（1/8、1/10）</p> <p>【情】石巻地区成人式撮影記録DVD作成支援（1/12）</p>
2月	<p>【情】女川町「帰宅・安全指導放送」録音編集（2/3）</p> <p>○第3回センター連絡会議（2/4） 河北総合支所</p> <p>○第3回センター運営委員会（2/18） 河北総合センター</p>
3月	<p>【情】センターだより発行</p> <p>【情】アプリケーション操作支援（パワーポイント） ケヤキッズあゆみの保育園（3/9） ※ 職員1人が来所し、視聴覚センター事務室で実施</p> <p>○次年度計画立案</p>

【サテライト研修会について】

石巻地区14の小・中学校、幼稚園・保育所等において児童生徒1,060人、教職員74人、保護者115人を対象に研修会を実施した。（令和2年2月18日現在）

情報化の進展により、IoTやビッグデータの活用、AIの進化で生活が大きく変化し、便利になった。子供たちは生まれた時からインターネットに慣れ親しんでおり、ゲームや動画閲覧などオンラインの生活を送っている。こうしたデジタルネイティブ世代の子供たちに対して、幼少期からオンライン上のマナーやセキュリティを学ばせることが重要である。しかし、我々大人が子供たちに指導するうえで必要な知識や理解が不十分であることが現状である。

デジタルアーツ株式会社が令和元年5月に発表した「第12回未成年者の携帯電話・スマートフォン利用実態調査」によると、10歳から18歳のスマートフォン所有率（契約切れのスマートフォン含む）は94.5%であり、特に小学校高学年は90.8%で前年度の調査より16.5%増加している。子供たちが安易に動画を投稿したり、見知らぬ相手とつながったりすることで、個人情報流出や性的被害など、SNS等に起因する事犯の問題が発生しており、家庭だけでなく、学校を含め、社会全体で子供たちの情報モラルを育成することが大切である。特に学校では、主として仲間とのネットコミュニケーションにおけるルールやマナーについて指導しているが、LINE、Facebook、Twitter等の新しいネットワーク上のコミュニケーション手段、そこで起きている問題のある画像の投稿やネットいじめ等のトラブルに関する知識不足を感じながら授業を行っている教員も少なくない。当センターの社会教育主事としては、教員が情報モラル教育を十分に理解し、授業に結びつけるよう、支援していくことが大切である。

以上のことから、教員が自ら授業を実施し、経験を重ねていくことが授業力を高めることになり、情報モラル教育の充実へとつながっていくのではないかと考えた。そこで、情報モラル学習では、学習参観日や過去3年間に本研修を受けた教職員が希望する場合は、T・T指導（社会教育主事はT2）とした。当日の授業の流れや役割分担等については、担任と一緒に話し合い、実践した。また、社会教育主事が指導の一例として行う授業も例年通り実施した。授業後は、他学年の教職員も児童の指導や保護者への啓発として活用できるよう、補助資料（「主なSNSの設定・対策」他）等を提供した。情報モラル研修では、教職員を含め、児童生徒と保護者合同による研修依頼が多かった。そこで、トラブル事例や調査結果をもとに子供たちを守るための方策の他、未然防止として「親子で一緒に家庭のルール作りをすること」、「保護者の責務としてフィルタリングの設定をすること」を中心に話をした。スマートフォンは使い方を間違えると危険ではあるが、ルールを理解し、相手のことを思いやりながら正しく利用していこうとする意識が高まった。

近年、一般家庭にスマートスピーカーが普及している。文字入力が必要がなく、音声だけで電化製品のコントロールや情報検索などが可能なため、誰でも容易に操作できる。スマートフォンやゲーム機に加え、今後は音声入力対応の様々な情報機器が普及し、インターネットを利用する子供の低年齢化が予想される。そこで、情報モラル学習の対象学年の下限を4年生から3年生に引き下げて実施することを検討したい。また、子供たちのインターネットにおける現状を把握し、小・中学校の課題に応じた指導案や資料の作成、改善をしていく。さらには、学校や家庭に情報を提供するとともに、子供たちがインターネットを適切に利用できるよう、情報モラルの育成に取り組んでいきたい。

2 貸出し事業の概要

(1) 教材・機材の貸出し件数

年度 月	平成 30 年度				令和元年度				前年比 %
	石巻市	東松島市	女川町	合計	石巻市	東松島市	女川町	合計	
4 月	39	9	5	53	72	8	3	83	157%
5 月	41	18	2	61	53	6	2	61	100%
6 月	65	18	2	85	103	0	0	103	121%
7 月	93	0	0	93	50	16	4	70	75%
8 月	62	0	1	63	46	3	5	54	86%
9 月	48	0	1	49	54	3	2	59	120%
10 月	67	3	3	73	54	4	0	58	79%
11 月	62	3	9	74	60	8	0	68	92%
12 月	32	8	4	44	30	9	2	41	93%
1 月	78	5	2	85	63	9	5	77	91%
2 月	75	9	4	88	45	0	2	47	53%
合計	662	73	33	768	630	66	25	721	94%

(2) 貸出先種別件数

	平成 30 年度	令和元年度	前年比 %
幼稚園	55	45	82%
保育所等	331	351	106%
小学校	116	107	92%
中学校	42	38	90%
高等学校等	13	8	62%
官公署等	37	33	89%
教育委員会等	73	41	56%
福祉施設	8	3	38%
その他	93	95	102%
合計	768	721	94%

(3) メディア種別貸出数件数

	平成 30 年度	令和元年度	前年比 %
DVD	478	493	103%
16mm	10	10	100%
ビデオ	13	14	108%
機 材	267	204	76%
合 計	768	721	94%

※データ集計日：令和2年3月1日